

## 平成30年度 奄美市紡ぐきよらの郷づくり事業 助成実績

	番号	事業実施団体	代表者氏名	事業区分	事業名	事業概要	総事業費(円)	助成額(円)
(一次募集) ハード	1	浦上町内会	会長 壽 剛進	その他	有盛神社屋根等改修事業	○有盛神社は、平成5年5月31日に町内外からの寄附により再建されたが、台風等による雨漏り、屋根の経年劣化が進んだことから腐食が広がり、屋内にある市指定文化財である石造弁財天像の保護が危うい状況となった。市指定文化財の保護と集落の祭事を維持・発展させるため、有盛神社屋根等の改修を行なった	6,000,000	3,000,000
(一次募集) ソフト	1	芦花部町内会	会長 青木 孝光	地域の宝	「西郷どんゆかりの地・芦花部」整備・発信事業	○一集落1ブランド認定の「芦花部一番の碑」や、幕末に西郷隆盛が奄美大島滞在時代に芦花部を訪れた縁により建設された「南洲神社」といった多くの歴史・文化資源があり、このことを島内外の多くの人々に向けて発信していくことが目的である。内容としては、地域内周遊のための説明版・案内板設置周遊マップ含むパンフレット作成・配布、ガイド育成のためのワークショップとモニターツアーを開催した。	692,453	585,000
	2	小湊婦人会	会長 小杉 佐織	地域の宝	子どもたちが帰ってきたくなるシマづくり事業	○小湊婦人会の切なる願いである「島を離れた子どもたちに、故郷のシマの良さを再認識させ、帰島を促す動機を作ること」並びに「世界自然遺産登録による観光客増加に対応するため、古見方地区に新たな着地点を設けること」を目的とし、次の事を行なった。小湊歴史等の講座、小湊散策コースの設置、夜光貝加工技術講座、夜光貝小物製作キットパッケージ化、小湊案内パンフレット作成、地場産品販売イベント等。	670,692	600,000
	3	特定非営利活動法人 ディ!	代表理事 麓 憲吾	その他	歌で島の心を育む～唄島CAMP	○奄美の唄島文化という島内外の認識・意識がまだ醸成されておらず、改めて次世代へ担う子どもたちへの奄美を取り巻く音楽文化のレクチャーと、その文化活動やメディア発信が必要と考える。そこで、奄美自然の家を活用し、1泊2日で奄美大島内の小中学生・高校生を対象に、シマ唄はじめ奄美の伝統や音楽に関わる内容をプロ・アマの地元ミュージシャンなどがレクチャーする音楽文化授業としての唄島CAMPを行なった。	811,572	600,000
	4	奄美群島の日本復帰運動を伝承する会	会長 西平 功	その他	「復帰65周年・子ども読本・奄美の復帰運動は子どもたちも参加した！」冊子発行	○これまで、復帰運動期の奄美を語る子ども向け読本がないことから、復帰65周年の今年、復帰当時子どもだった世代が元気なうちに体験話を伺い、冊子にまとめ、後世に伝承を試みた。	602,356	540,000

(二次募集) ソフト	5 (1)	一般社団法人 奄美猫部	代表理事 久野 優子	自然遺産	奄美大島における「ネコ問題」の解決に向けて -ノラネコの保護譲渡活動と情報発信に基づく地域社会への貢献-	○本事業は、ノラネコに関する情報を発信するホームページを制作し、「ネコ問題」を広く地域住民に周知するとともに、ノラネコの保護・譲渡活動を推進することでノラネコを減らし、世界に誇るべき奄美大島の固有の生態系の保全に寄与する事を目的とするものである。	656,801	591,000
	6 (2)	特定非営利活動法人 奄美ゆいの郷	代表理事 松井 正義	その他	結い作業のしくみづくり・ 「しいたけ栽培」体験	○平成25年度紡ぐきよらの郷づくり事業を活用し整備した「椎茸園」において、身障者、賛同者、高齢者等それぞれが主体的な役割を担い結い作業のしくみづくりと誰もが可能な椎茸づくりを目的に、「椎茸栽培習得事業」「椎茸栽培体験事業」を行なった。	719,044	600,000
	7 (3)	一般社団法人 ママ脳総合研究所	理事長 恵 夕喜子	その他	奄美のこどもが安心安全な食べ物を口にする環境づくり	○全国的に授業中にじっと座ることができない子どもたちの問題行動が増えている。世界でも食が子どもたちに及ぼす悪影響が注目されている。乳幼児期や胎児期(妊娠中)の食事が子どものカラダ作りに大きく影響するをテーマにしたシンポジウムを開催し、子どもの食に関わる母親、保育園・幼稚園の経営者の意識改革に取り組んだ。	689,548	600,000
	8 (4)	奄美地区地域支え合い協議体	代表 三島 照	その他	奄美地区多世代交流機会確保及び男性の社会参加活動促進応援事業	○奄美小学校校区である奄美地区においては、自治会が無い地域やあっても住民の互助活動にまでは繋がっていない地域が散見される。地区住民同士が顔の見える関係となり、多世代が交流できる関係性を構築するとともに、男性が地域の社会活動に積極的に参加できる機会を設けることで、地域の社会活動や互助活動が活性化することを目的とする。 本事業では2日間の「おもちゃドクター養成講座」を開催し、奄美地区住民の特に男性の方に講座受講してもらい、おもちゃ修理の知識と技術を習得した。	195,140	175,000
	9 (5)	奄美大島介護事業所協議会	会長 盛谷 一郎	その他	奄美共生プロジェクト	○認知症を患った高齢者の皆さんや障がいを抱えて生活している方々が、家に閉じこもらずに地域に出かけられ、地域住民と交流できる環境(雰囲気)を醸成するため、奄美市内3か所(金久中学校、伊津部小学校、奄美小学校)からゴール(奄美市役所)をめざして一緒に歩き、リレー方式でタスキ(紬)をつなぎます。また、ゴールの奄美市役所において、イベントを開催した。	147,292	90,000

※ハード…地域活性化施設等整備助成事業 ソフト…創造プログラム助成事業